

「データヘルス・予防サービス見本市2020」概要

- 健康・予防サービスを提供する事業者との協働・連携を推進させる場として「データヘルス・予防サービス見本市」を開催し、医療保険者と高度な専門性や人的資源を豊富に有する質の高い事業者とのマッチングを促進。
- 2019年度は、東京（11月26日、11月27日）で2日間開催。医療保険者、地元自治体の担当者等、約2,600人が来場。
- ※2015年度に東京で初開催。2016年度は福岡・仙台・大阪。2017年度は名古屋・東京で開催。2018年度は大阪、東京で開催。



データヘルス・ 予防サービス見本市 2020

開催日時：2020年12月1日（火）、2日（水） 場 所： 大阪国際会議場（グランキューブ大阪）（大阪市北区中之島）

来場目標数（延べ人数）：1,500名

開催テーマ：“高齢者医療を考える健康づくり&新型コロナウイルス感染症対策”

企業、地方自治体等が抱える「健康づくり」「新型コロナウイルス感染症」についての様々な課題を、今回の事業に参加する企業のサービスや活用方法を知ること、解決につなげます。

※新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で開催
例）入退場の制限等による3密の回避、出入口での検温等

（参考）データヘルス・予防サービス見本市2019の様子



出展事業者ブースは、
5つのテーマで展示

- ①データヘルス計画
- ②予防・健康づくりのインセンティブ
- ③生活習慣病の重症化予防・フレイル対策
- ④健康経営・職場環境の整備
- ⑤新型コロナウイルス感染症対策

主催者セミナー・
出展者セミナーも2日間開催